

戦争にもテロにも…、全ての武力攻撃に反対！

ロシアとウクライナの戦争、そして「ハマス」による武力行使に端を発した、イスラエルによるパレスチナ自治区・ガザ地区への攻撃を中心とする武力攻撃も収束の兆しは見えない。

「ウクライナ戦争」もそうであるが、昨今では、砲撃により建物が轟音とともに煙をあげて崩れ落ちる様子や、巻き添えとなった住民・子供・乳幼児が血を流し気を失い、運ばれていく様子が、報道によりリアルに見ることができる。いや、これでもかと思わせつけられる。

イスラエル軍は「ハマス」の作戦本部があるとして「シファ病院」に突入した。病人、負傷者、安心・安全と思い避難してきた住民のいる病院を戦場にしたのだ。

流血した子供たちの姿を見るのはもうたくさんだ！

国どうしの戦争はもとより「ハマス」とイスラエルとの紛争のように、紛争を武力で「解決」しようとするれば、あるいは武力で他方を屈服させようとするれば、その犠牲となるのは労働者とその家族であり、子供や病人など社会的弱者である。武力行使を判断する側は、安全な場所で指揮するだけで、けっして血は流さない。

加害者にも、被害者にもなりたくない！

私たちはどこまでも労働者なのだ！